

みんなで……

- ・公害をなくしましょう
- ・木と花を植えましょう
- ・スポーツを楽しみましょう
- ・暴力を追放しましょう



見たり 聞いたり

応急手当を忘れ ずに

ある救急隊員

○月○日 専用電話「119番」がけたたましく鳴る。「交通事故です。○○町○○屋の前で単車の方がたおれています」小雨の降る中を現場に行くと、近所の方が人がバスタオルなどにくるみ、保温しながら救急車のくるのをまつてくれた。人のことには無関心な風潮のこのごろ、見知らぬ人を助けてくれた人たちの暖かい心が感じられうれしかった。

○月○日 「娘が睡眠薬を飲んだのです早くお願いします」母親のことばは悲壮であつた。患者を病院に収容したのは出勤して5分か6分くらいたつてからだ。しかし、C病院では診断手続きだの、母親からの事情聴取に時間がかかり、医師がきたのは15分くらいしてからだつた。服毒患者は素人が考えても一刻も早く胃を洗滌しなければならないのに……。

○月○日 久しぶりに東名出勤。現場は薩垂峠の少し手前で署から約30分。患者は出血がひどく路上に伏せていた。すでに県警の東名分遣隊の検証がはじまつ

ていたけど、患者に手当がしてなかつた清水の病院に収容したが、翌朝、死亡の連絡を受けて暗い気持ちにさせられてしまった。

○月○日 岳南鉄道で衝突事故が発生したという連絡があつた。救急車2台で現場に向う。現場に着いて負傷者が多いので民間の救急車はもとより、消防車にも出動を依頼してピストン輸送で作業をすすめた。負傷者の収容をすませ、一息つくとともに多くの人命をあずかる輸送機関のミスに怒りを感じた。

メモ

富士市に救急隊が組織されたのは昭和41年5月。ことし救急車を1台増車し現在、消防署と富士分署に配置してあります。隊員は隊長、運転手、隊員の3人1組で、2交代で勤務についています。さくねん1年間の出勤回数969回で、搬送した人員は791人でした。
「119番」を乱用するひとが、このところ目立っています。119番は「火事、緊急」のときだけに使ってください。